

スポーツのチカラ まちのミライ

vol.11

2030北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会が実現すると、
私たちの街・札幌はどのような姿へと変貌を遂げるのでしょうか？
札幌オリンピックミュージアム学芸主任の山谷和正さんにお話を伺いました。



オリパラ教育の取り組みを通じて
街に誇りを、子どもたちに夢と希望を

札幌オリンピックミュージアム学芸主任
山谷 和正さん

1976年生まれ、小樽市出身。2017年よりオリンピックミュージアムネットワークのオリンピック教育メンバーを兼任。国内スポーツレガシーの継承・啓発プロジェクトに関わり、ミュージアムを拠点としたオリパラ教育の推進に努める。

取材協力：札幌オリンピックミュージアム

最高峰の感動と情熱をミュージアムへ

札幌オリンピックミュージアムには、オリンピックやパラリンピックの歴史や精神、選手たちの偉業を伝える数々の展示、選手の視点でオリンピック競技を体感できるシミュレーターなどがあり、ウインタースポーツやアスリートたちの世界を知り、学ぶことができます。私が学芸員として力を入れているのが、「選手たちの努力の結晶と熱い想い」を多くの方に届けることです。選手たちとの絆を大切にすることで、実際に競技に使用した貴重なアイテムやウェア、サイン、写真などを選手から寄贈してもらえ、ご来館の皆様には本物を見て感じてもらうことができるようになっていきます。そして、さらに力を入れているのが、世界を繋ぐオリパラの理念やスポーツのチカラを子どもたちに伝える「オリパラ教育」です。

子どもたちの未来のために オリパラ教育で学びと発見を提供

「オリパラ教育」は、子どもたちに札幌市民としての誇りや、夢、希望を持つことの大切さを学んでもらうことを目的とした、アスリートの講義と学芸員の展示解説を組み合わせた取り組みです。授業を受けた子どもたちから、「冬のスポーツに興味を持った」「新しい習い事を始めた」などのうれしい報告があり、子どもたちの未来につながっていることを実感しています。2030年には、今の小学生や中学生は20歳前後になっています。オリパラ教育を受けた子どもたちが、北海道・札幌冬季オリパラで選手として地元で活躍し、その後、アスリート講師としてオリパラ教育に携わってくれたら、こんなに幸せなことはありません。

問い合わせ先

札幌市スポーツ局招致推進部調整課 ☎011-211-3042

SAPPORO

食や自然など多くの魅力に恵まれた
「笑顔になれる街」さっぽろをイメージしたロゴです

問い合わせ先

札幌市総務局広報部広報課 ☎011-211-2036